



能勢高校ニューズレター

第60号 H.24. 5月発行

—能勢高校の進路指導とその成果—

この3月に卒業した58期生(中高一貫・総合学科6期生)進路状況

卒業生数 男44名 女19名 計63名

	58期生(人数・割合)		57期生	56期生	55期生
四年制大学	18人	28.6%	29.3%	40.9%	37.8%
短期大学	3人	4.8%	12.0%	10.6%	9.5%
専門・各種学校	25人	41.3%	26.7%	25.8%	23.0%
(このうち看護学校)	(1人)	1.6%	(0%)	(1.5%)	(0%)
就職	15人	22.2%	25.3%	21.1%	27.0%
その他	2人	3.2%	6.7%	1.5%	2.7%
卒業生数	63人	100.0%	75人	66人	74人

四年制大学への進学者が昨年度に続き30%を割り込みますが、人気大学への合格者数が増

加しました。専門学校への進路決定者も増加しました。進路未決定者が昨年度より減りました。

就職者 おもな就職先 男10名 女5名 15名

大阪府警(警察官) 中央技研(技能) 佐川急便(デリバリー)
 双葉産業(技能) にしけい(空港保安員) つるやゴルフ(販売)
 唐崎屋(販売) 嵯峨映画(照明補助) ボルツ(製造) ライフネット(技能)
 猪名川国際G. C. (フロント業務) 三杉屋(技能)

専門学校進学者 おもな進学先 男19名 女6名 25名

大阪医療看護 兵庫県農業大学校 太成学院大学歯科衛生士 日産京都自動車整備
 修成建築 大阪総合デザイン 大原法律公務員 ホンダテクニカルカレッジ
 大阪ビジネスカレッジ 阪神自動車鉄道航空 大阪デザイナー 大阪動植物海洋 大阪ハイ
 テクノロジー 大阪リゾート・スポーツ 大阪コンピュータ ECCコンピュータ 大阪総
 合デザイン ベルベビューティーコミュニケーション



四大進学者 男11名 女7名 18名 短大進学者 男2名 女1名 3名

合格大学 (延べ合格者数22名)

〔国公立大学〕
 和歌山大学 観光学部(1) 兵庫県立大学 工学部(1) 岡山県立大学 工学部(1)
 〔私立大学〕
 関西学院大学 教育学部(1) 龍谷大学 経営学部(1) 摂南大学 工学部(1)
 近畿大学 工学部(1) 追手門学院大学 社会学部(1) 京都学園大学 経済学部(1)
 大阪経済法科大学 法学部(1) 梅花女子大学 心理子ども学部(2) 大阪産業大学 工学部(1)
 大阪電気通信大学 工学部(1) 大阪総合保育大学 児童保育(1)
 大阪樟蔭女子大学 経済学部(2) 大阪体人間科学大学 人間科学部(1)
 関西国際大学 教育学部(1) 甲子園大学 栄養(1) 神戸芸術工科大学 プロダクトデザイン
 大手前大学 総合文化学部(1) 宝塚大学 造形芸術学部(2) 帝塚山大学 人文学部(1)

合格短大 (合格者数3名)

京都外国語大学短大 (1) 湊川短大 (2)

1. 徹底したキャリア学習

入学時より「キャリア教育」に力を入れ、早くから生徒一人ひとりに「進路目標」を設定させるように指導します。外部講師を招いて「進路ガイダンス」を実施するなど、「世の中にはどのような仕事があるか、そして、どのような能力・資格が必要か」、そして「その資格を得るには高校からどんな進路があるか」を繰り返し学習します。

2. 放課後・長期休業中の講習

進学希望の生徒たちに対して夏休みの「勉強合宿」(一年生)や放課後と長期休暇中の講習を実施します。少人数校であることのメリットを生かした個人指導に近い形式が特徴で、塾や予備校に通わなくても難関大学に合格できる力を身につけることをめざしています。

3. 校内実施の外部模試

自己の学力の客観評価をし、適切な目標設定をするために、**外部模試を年間数多く能勢高校で実施**しています。

「能勢町小中高一貫教育総会」報告

4月17日（木）浄るりシアターで、「能勢町小中高一貫教育総会」が開催されました。この春、能勢高校に農業科教諭として着任した本校卒業生（中高一貫・総合学科1期生）**松田嘉織 先生**（京都教育大学教育学部卒 能勢町立久佐々小学校・西中学校出身）が、一貫教育の成果として能勢高校の進路指導について発表しました。



「能勢高校で、さまざまな授業ときめ細かい進路指導を受けました。交流授業で小学生に接したことが、先生になろうと思ったきっかけです。農業クラブでたくさんの活動を行い、進路実現に生かしました。結果、目標とする大学に入ることができ、そして、先生として母校に戻ってきました。後輩たちも、この素晴らしい能勢高校でのいろいろな学習や体験を通じて、夢を実現してほしいです。」

オーストラリア マジー高校来日

【日本スタディーツアー（4月5日～18日）】

本校の国際交流相手校、オーストラリア・ニューサウスウェールズのマジー高校が2週間の日本スタディーツアーで来日しました。総勢32名（生徒28名、教員4名）の一行は4月5日にシドニーを出発し、東京・姫路・京都・奈良・広島を訪れた後に14日から17日の4日間を大阪で過ごしました。本校とチームを組んで国際交流研修を実施している、北千里高校・茨木西高校に



はそれぞれ、生徒15名と教員1名・生徒6名と教員1名が訪問し、そして本校には生徒7名と教員2名が能勢町でのホームステイの形で滞在しました。

本校には14日（土）の夕刻バスで到着し、15日（日）は一日ホストファミリーと過ごしました。16日（月）は、本校生徒会司会進行による体育館でのウェルカムセレモニー（両校代表挨拶・記念品交換・両校生徒パフォーマンス）で出迎え、その後、学校農場の見学や能勢高校生徒の授業と一緒に参加し、交流を深めました。また、放課後には能勢町浄るりシアターの協力で、人形浄瑠璃の実演と解説、そして、体験をさせていただきました。オーストラリアの高校生たちが、人形について活発に質問し、興味深そうに体験する様子は印象的でした。

二日目の日本滞在最終日となる17日（火）には、長谷の棚田（日本棚田100選）と野間の大ケヤキを見学し、能勢高校生徒と教員の見送る中、正午にバスで関西国際空港へ出発しました。本校への訪問は1日半の短い期間でしたが内容の濃い有意義な交流になりました。

例年通り今年も夏のマジー高校への国際交流研修希望者を募っていますが、すでに複数名の応募があり、今後も活発な交流が継続されることとなりそうです。

